

◆英語運用能力について

資料5

	TOEFL(iBT及びComplete PracticeTest)	英検	GTEC for STUDENTS
AAA	受験者40名以上かつ上位30名平均72以上	準1級以上30名以上	上位30名の平均が1190以上
AA	受験者40名以上かつ上位30名平均42以上72未満	2級以上30名以上	上位30名の平均が960以上1190未満
A	受験者40名以上かつ上位30名平均42未満	評価せず	評価せず
B	受験者40名以下かつ平均42以上	評価せず	評価せず
C	上記基準に達せず	評価せず	評価せず

学校	独自取組		外部検定試験							評価		
	主な取組	取組詳細	英語検定 (受験者)	TOEIC受験者 (最高スコア、平均スコア) 公開：990点満点 IP：990点満点 Bridge：180点満点	TOEFL受験者(最高スコア、平均スコア) iBT：120点満点 iTP Level 1：677点満点 iTP Level 2：500点満点 Junior：900点満点 TOEFL iBT Complete Practice Test	TOEFL 合計人数(iBT iTP,Junior,Complete Practice Test) (ibt,Complete Practice Test上位 30名平均)	その他	TOEFL に係る 評価	英語検 定		その他	
北野	①英語による講演・留学生との交流会実施 ②「学内留学講座」の実施 ③native 教員による独自教材の作成と活用 ④海外でのフィールドワークの実施(ハワイ研修、シアトル研修、シンガポール研修、台湾研修)→コロナのため中止・	裏面記載	準1級16名 2級10名 準2級5名 (60名)	公開 1名								C
豊中	①ディベート・チーム ②ディベート体験 ③英語リスニング講座 ④大阪大学留学生交流	裏面記載	準1級10名 2級132名 準2級142名 (311名)							AA		AA
茨木	①ディベートを取り入れた英語授業 ②大阪大学等留学生との交流 ③「イマージョンプログラム」の実施 ④長期留学生の受け入れ	裏面記載	1級1名 準1級15名 2級36名 準2級1名 (86名)		iBT 1名 Junior 1名			IELTS 1名		AA		AA
大手前	①フィリピン語学研修 ②ニージーランド・カナダ バーチャルホームステイ ③アメリカグローバルリーダー研修 ④台湾高級中学との交流	裏面記載	準1級7名 2級35名 準2級10名							AA		AA
四條畷	①土曜講座 ②英語プレゼンテーションコンテスト ③GTEC 1・2学年全員受験 ④英語コミュニケーション集中講座 ⑤課題研究オンラインプログラム	裏面記載	2級2名 準2級1名 (9名)					GTEC Advanced 708名 (最高1194 平均893)			AA	AA
高津	①「英語コミュニケーション集中講座」の実施 ②外部英語検定試験の受験 ③SSH事業における英語での研究発表 ④留学生を講師としたコミュニケーション講座	裏面記載						GTEC Advanced 708名 (最高1239 平均900.8)			AA	AA
天王寺	①Road to Global Leaders (R2.8/4(火)-8(土)) ②校内英検実施 R3.1/23(土))	裏面記載	準1級9名 2級31名 準2級4名 (94名)			iTP Level 1 1名		IELTS 1名 TOEIC L&R 4 名 ケンブリッジ英 検 5名		AA		AA
生野	①1、2年生全員の英検受験、ネイティブスピーカーによる 英検面接指導 ②English Café ③海外研修の実施 ④海外の高校生との交流	裏面記載	2級127名 準2級168名 (546名)							AA		AA
三国丘	①SGP事業の実施 ②4技能統合型授業の実施 ③外部試験の受験 ④海外研修の実施	裏面記載	準1級21名 2級118名 準2級38名 (201名)			iBT 1名		ケンブリッジ大 学英語検定 1 名 GTEC Advanced 5名		AA		AA
岸和田	①GTECの受験 ②英検 面接指導 ③English Café ④日本文化体感プログラム	裏面記載	準1級10名 2級82名 準2級46名 (226名)					GTEC Advanced 626名 (最高1200 平均841.3)		AA	AA	AA

英語運用能力を育成する取組（参考）

学校	独自取組		
	主な取組	取組概要	コロナ対策として当初計画を変更して実施した取組
北野	<ul style="list-style-type: none"> ①英語による講演・留学生との交流会実施 ②「学内留学講座」の実施 ③native 教員による独自教材の作成と活用 ④海外でのフィールドワークの実施（ハワイ研修、シアトル研修、シンガポール研修、台湾研修）→コロナのため中止 ⑤グローバルリーダー養成英語集中セミナー（5日間集中、プレスト・ポストテスト）の実施 ⑥即典型英語ディベート実践 	<p>授業で電子黒板を活用したり、ネイティブ教員と独自教材を活用し、授業をすべて英語で実施するなど、「発信型でアクティブな授業に変える」取組が充実している。民間教育機関を活用した「学内留学講座」を4回、「グローバルリーダー養成英語集中セミナー」を5回実施し、ネイティブスピーカーの指導のもと、様々なトピックについて英語で討議した。以前にSETが作成した教本（5冊）を毎年改定、活用し、4技能を総合的に鍛える授業を行った。即典型英語ディベートも1年生全体で導入し、希望者が関西大会、全国大会へと進んだ。</p>	<p>海外でのフィールドワークの実施（ハワイ研修、シアトル研修、シンガポール研修、台湾研修）が、新型コロナウイルス感染症拡大のため中止せざるを得なくなり、その代替として、夏休みと春休みにグローバルリーダー養成英語集中セミナーを、春休みに淡路島研修を実施し、課題研究で扱うトピックについて、海外のフィールドワークを行わずに、国内で研究、研修、考察、ディスカッション、フィールドワークを行った。</p>
豊中	<ul style="list-style-type: none"> ①ディベート・チーム ②ディベート体験 ③英語リスニング講座 ④大阪大学留学生交流 ⑤国内留学プログラム 	<ul style="list-style-type: none"> ①1・2年生の希望者（16名）を対象に、月・木の放課後、即典型英語ディベートの練習を行った。ディベートの全国大会にも出場した。 ②1年生全員を対象に、即典型英語ディベート体験を行った。 ③全学年の希望者を対象に、土曜講習の中でリスニングの対策を行った。 ④1年生全員を対象に、大阪大学から27名の留学生とオンラインで交流を行った。課題研究の研究交流及び文化交流を行った。 ⑤1・2年生の希望者（54名）を対象に国内留学プログラムを行った。 	<ul style="list-style-type: none"> ①日本高校生 Parliamentary Debate Union 大阪府大会はオンラインでの実施となった。 ④大阪大学の留学生と英語で交流する企画については、対面で行うことができなくなったが、各HR教室にパソコン・プロジェクターを準備してZoomで留学生とつながった。 ⑤直接の会話が難しくなったため、各班で課題研究の時間を活用し、グループごとに英語のプレゼンテーションを作成して留学生に向けてプレゼンテーションを行った。そのプレゼンテーションを聞いた留学生から本校生徒へ質問をもらったりそのトピックにまつわる会話を行うなどの交流会を実施した。
茨木	<ul style="list-style-type: none"> ①ディベートを取り入れた英語授業 ②大阪大学等留学生との交流 ③「イメージングプログラム」の実施 ④長期留学生の受け入れ ⑤Beyond_iプログラムの実施 ⑥ネパールの高校生との交流 	<ul style="list-style-type: none"> ①保健の授業でのディベートの経験を土台にして、2年「英語表現」授業にて、「東京オリンピックを無観客で実施すべき」「食品賞味期限表示を廃止すべき」などのテーマでディベートを実施。論理的・批判的思考を鍛える。 ②大阪大学の留学生とオンラインでディスカッションを行う。1年生全員が参加。 ③冬休み2日間ネイティブ講師による少人数英語演習プログラム。1年生70人弱、2年生15人参加。 ④令和2年12月中旬より3年7月までメキシコからの留学生を受け入れ。 ⑤春休み4日間、日本の大学に在籍している留学生とSDGs 諸問題についてディスカッションを行う。 ⑥ネパールの高校生と、SDGsをテーマに4回、オンラインでディスカッションを行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ②大阪大学留学生との交流は当初例年通り留学生60人を招き本校生5人程度に対し留学生1～2名という小グループでのディスカッションを予定していたが、対面での交流が困難な状況であったため、各教室を留学生とオンラインでつなぎ、ディスカッションを行った。 ④長期留学生受け入れは当初令和2年4月～令和3年1月までの約1年間の予定であったが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大等のため、来日時期が大幅に遅れ、令和3年度にかけての受け入れとなった。 ⑤例年実施している海外修学旅行が令和2年度は中止となり、海外との交流の機会を少しでも増やすために、新規に「Beyond_iプログラム」を企画・実施した。
大手前	<ul style="list-style-type: none"> ①シンガポール語学研修 ②オーストラリア研修 ③オーストラリア語学研修 ④英国交流 ⑤アメリカ研修 	<ul style="list-style-type: none"> ①現地調査・ホームステイを行うのみならず、ネイティブ指導者から英語プレゼン発表スキルを学ぶ。（中止） ②大学や研修施設で英語での講演・説明・講義を受け、現地の高校生と共同実験・研究交流を行う。（中止） ③語学学校Sun Pacific College近郊の現地家庭にホームステイをしながら、現地の大学生リーダーの指導の下、語学学校レッスン・市内研修に参加する。（中止） ④英国ウェールズ・ベンクライス校との交流。（中止） ⑤現地寮に滞在し、現地の大学生と講義・実習に参加し、グローバルに活躍する人材育成をテーマに研修を行う。（中止） 	<ul style="list-style-type: none"> ①フィリピン語学研修：セブのIDEA Education語学学校による英会話レッスン。SDGs交流セッション。（参加21名） ②ニュージーランド・カナダバーチャルホームステイ：パティ、現地校生徒との交流。3か国同時交流。（参加8名） ③アメリカグローバルリーダー研修:トップ大学キャンパスツアー。現地大学生とのワークショップ。マサチューセッツ工科大学ワークショップ。ハーバード、スタンフォード大学模擬授業（応募15名准行人数未達） ④台湾高級中学との交流：本校ESS部員と台湾高級中学とのオンライン交流。（15名参加） ⑤CEFR-Oの実施：CEFR A2相当の独自仕様による英語能力の確保
四條畷	<ul style="list-style-type: none"> ①土曜講座 ②英語プレゼンテーションコンテスト ③GTEC 1・2学年全員受験 ④英語コミュニケーション集中講座 ⑤課題研究オンラインプログラム ⑥オーストラリア オンライン1日留学体験 ⑦オーストラリアZOOM交流 ⑧オーストラリア森林火災復興支援金贈呈交流 ⑨オーストラリア生とクリスマスカード・年賀状交換 ⑩松山高級中学と英語ビデオ交流 	<ul style="list-style-type: none"> ①土曜講座では、4技能型試験の概要説明と演習を複数回行った。 ②1年生で英語によるプレゼンテーションコンテストを実施した。クラス予選を行い、代表を決定するので全員がプレゼンテーションの機会を持つ。 ③GTEC for studentsをspeakingを含め、1・2年生全員が受験した。 ④1年生全員を対象にした、ネイティブ英語講師によるプレゼンテーション力・ディスカッション力向上を目的としたプログラム。 ⑤校内で選抜され、シンガポールで英語プレゼンを予定していたチームに対して、ネイティブ講師による4日間の指導と5日目に成果発表として10人のネイティブに対して英語でプレゼンを行った。 ⑥英語運用能力向上を目的に、希望者を募り、オーストラリア パースのオンライン留学体験プログラムに参加した。 ⑦姉妹校のハンガリー州立高校の生徒と週2回のZOOMによる定期交流会、本校生がクリスマスカードをハンガリー生が年賀状を作成交換し、交流することで英語運用能力の向上を図った。 ⑧オーストラリア研修参加予定であった生徒20名が、森林火災の復興のため校内で募金活動をし、ローンバインコアラ保護区の職員に贈呈、ZOOMによる交流を行った。現地職員が英語でコアラと保護区の紹介をしてくれ、英語運用力向上の一助となった。 ⑩松山高級中学の生徒と英語ビデオを交換し、それぞれのビデオについてZOOMにより英語で交流し、英語で説明・質疑応答する経験により、運用力が高められた。 	<ul style="list-style-type: none"> ②プレゼンテーションコンテストの決勝大会の場所を体育館に変更した。 ⑤シンガポール研修の代替として企画。 ⑥⑦⑧⑨オーストラリア研修の代替並びに希望者の英語運用能力向上を目的に実施した。 ⑩台湾修学旅行変更に伴い、現地校との交流並びに英語運用能力向上を目的に実施した。
高津	<ul style="list-style-type: none"> ①「英語コミュニケーション集中講座」の実施 ②外部英語検定試験の受験 ③SSH事業における英語での研究発表 ④GULS（Global Understanding with Local Skills） 	<ul style="list-style-type: none"> ①「英語コミュニケーション講座（KITEC）」では、1年生全員を対象に8人に対して1人の英語ネイティブ講師によるレッスンを丸1日受講することにより、ディスカッションやプレゼンテーション能力の向上を目標として実施する。 ②1・2年生全員が1・2月にGTECを受験し英語4技能の伸びを図る。 ③SSH事業において台湾を訪問し、英語での議論や研究発表を行う。 ④留学生を講師として少人数での定期的なコミュニケーション講座を実施。 	<ul style="list-style-type: none"> ③当初の計画では台湾を訪問し現地の高校生と交流する予定だったが、オンラインでの交流に変更し、韓国の高校生も参加した。 ④国際交流センターを会場として希望者16名を3グループに分けて20回実施した。他に韓国語6名1グループも同時に実施した。
天王寺	<ul style="list-style-type: none"> ①Road to Global Leaders (R2.8/4(火)-8(土)) ②校内英検実施 R3.1/23(土) 	<ul style="list-style-type: none"> ①対象：1・2年 内容：英語プレゼン・ディスカッション集中講座 参加者：92名 ②対象：1・2年 参加者：10名 	<p>英語運用能力の項目ではないが、実施できなかった海外渡航型の研修に代えて、新たに1年「創知1」で行っている「サイエンス・イングリッシュ」のポスターセッションに、大阪大学で学ぶ留学生を招き、英語での研究発表交流に指導助言を依頼する取組を導入した。数少ない海外の学生との対面による交流の機会となった。また、台湾、オーストラリアの姉妹校とオンラインによる交流を行った（参加者60名）。</p>
生野	<ul style="list-style-type: none"> ①1・2年生全員の英検受験、ネイティブスピーカーによる英検面接指導 ②English Café ③海外研修の実施 ④海外の高校生との交流 ⑤英語校内留学の実施 ⑥SSH探究2 成果発表会英語オーラル発表 	<ul style="list-style-type: none"> ①2年修了時に英検2級取得者6割を目標とする。3人のネイティブスピーカーの協力を得て、夏休み、放課後等に面接指導を行い生徒をサポート。 ②ネイティブスピーカーの協力を得て夏休みにEnglish Caféを開催。ランチを取りながらフリートーキングの練習。 ③（新型コロナウイルス感染症拡大のため、中止）例年はオーストラリアスタディツアーとアメリカサイエンスツアーを実施している。前者は提携校生徒宅へのホームステイと通学を通して英語力、コミュニケーション能力の育成を、後者は最先端の技術や講義に触れるとともに自分たちの発表を行い、科学英語の醸成を図っている。 ④（新型コロナウイルス感染症拡大のため、中止）中国や韓国など、アジア圏の国を訪れ、現地高校生との交流を英語を通して行い、コミュニケーション能力の育成を図る。 ⑤従来の、「英語集中講座」を「英語校内留学」と改称して実施。 ⑥自分たちの研究を広く発信するという観点から英語での発表を推奨している。 	<ul style="list-style-type: none"> ②食事をしながらのフリートーキング練習はできなくなったので、英語の映画を教材に、リスニング能力育成やよく使われる英語表現の定着を図った。 ③、④に関しては今後Webでの交流や発表が行えるように検討を始めた。
三国丘	<ul style="list-style-type: none"> ①SGP事業の実施 ②4技能統合型授業の実施 ③外部試験の受験 ④海外研修の実施 ⑤海外の高校生との交流 ⑥英語による課題研究発表 	<ul style="list-style-type: none"> ①米国リーハイ大学での研修に向けた英語での研修を4回実施。 ②1・2年生全員に4技能統合型の授業を週2コマ実施。 ③学校全体に外部試験を積極的に受験するように指導。 ④（新型コロナウイルス感染症拡大のため、中止） ⑤（新型コロナウイルス感染症拡大のため、中止） ⑥全国高校生フォーラム（12/20：オンライン開催）にSGP2年生の1グループが参加。審査委員長賞を受賞。 	<ul style="list-style-type: none"> ④（1）米国リーハイ大学への海外研修をオンラインで実施。 （2）フィリピンへの海外研修を中止し、(1)に統合。 （3）米国NASAツアーへの海外研修を中止し、(1)に統合。 （4）令和3年度米国NASAツアー参加予定者に対し、英語研修を令和3年3月実施。 （5）令和3年3月オーストラリア海研語学研修を中止し、オンライン英検対策講座として実施。
岸和田	<ul style="list-style-type: none"> ①GTECの受験 ②英検 面接指導 ③English Café ④日本文化体験プログラム 	<ul style="list-style-type: none"> ①1・2年生全員がGTEC4技能型を受験 ②英検受験者を対象に個別に面接試験指導を行った。（準1級～準2級） ③ネイティブ講師による話す力強化のための講座。希望者対象に年15回実施。 ④「日本文化体験プログラム」を実施し、日本にいる海外留学生と交流。 	<p>海外研修が実施できなかったため、歴史街道推進協議会とタイアップし、日本の大学で学んでいる大学生と岸和田城周辺の歴史的建造物を中心にオリエンテーリングをし、それらをまとめて発信するという「日本文化体験プログラム」を実施し、数名の生徒たちが参加し、好評を得た。</p>